

スポーツを通じて 姉妹都市交流を

海外から中学生20人

札幌市が国際親善ジュニアスポーツ交流事業で姉妹都市の中国・瀋陽市、ロシア・ノボシビルスク市、ドイツ・ミュンヘン市から招いた中学生計20人が1日、市役所を訪れⅡ写真Ⅱ、秋元克広市長に交流への期待を語った。

招待は5年に1回で、7



月31日に来日した。発寒中陸上部との合同練習、札幌ドームや北3条広場の視察、札幌中学校陸上競技大会への参加を通じて交流を深め、8月5日に帰国する。瀋陽市選手団を引率する馬強さん(52)は「交流を機にさらに関係を深めたい」とあいさつした。選手団には奉仕団体の札幌フロンティアライオンズクラブからタオルが贈られた。

(相川康暁)